

# 「行政評価」

# 市民の皆さんと協働した まちづくりを目指します

本市は業務改善の一環として、行政評価を実施しています。そこで、本号と次号の全2回にわたり、本市で取り組んでいる行政評価の導入の背景や評価の仕組みなどについて、質問・回答方式で説明します。

## フクロク

近年、厳しい財政状況のもとで、少子高齢化が進展し、住民の要望も多様化、高度化してきています。

このことから、ここ数年、限られた資源(お金、人)をより効果的かつ効率的に活用する新たな手法として行政評価に取り組むようになってきました。

現在、都道府県、政令指定都市はすべて、また、市レベルでは、本市を含め約7割の自治体が行政評価に取り組ん

でおり、その数は、年々増える傾向にあります。

今では、行政評価は、可能な限り市民の皆さんの要望に応えるため、皆さんが納めた税金をより効果的、効率的に使う上で不可欠な手段となっています。

市は、今後、行政評価の結果について、納税者である市民の皆さんにお知らせしていきます。

今回は、地元市役所に勤める大船大輝さんと、市内の会社に勤める妻の明日香さんの会話を通じて、行政評価に取り組むこととなった背景や行政評価の仕組みなどについてお知らせします。



大輝

明日香

## 行政評価導入の背景

最近、不況で会社の業績が上がらないのよね。だから、会社では、仕事の見直しを行うことにしていて、その対応で毎日大変だわ。

市役所も、国や県の台所事情が厳しく、不況で収入の増加が期待できなくて、年々やりくりが難しくなってきているよ。

市役所も大変ね。そうすると、仕事の方法も変わってくるんじゃないの。

そう、ちょうど今、仕事の方法を見直しているんだよ。

見直すって、これまでとどう違うの？

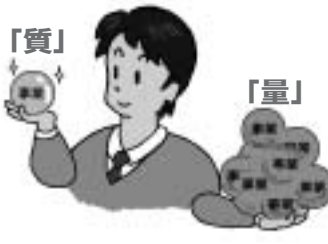
これまででは、どちらかというと、予算の規模や事業数に重きを置いていたんだけど、これからは、収入の伸びが期待できないので、

「量」より「質」をより重視する方向に変えていく必要があると考えているんだよ。

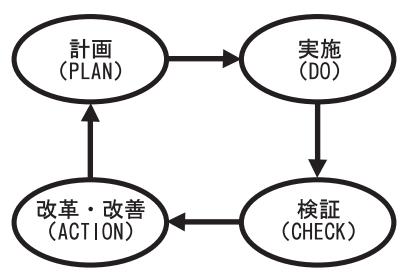
そこで、新たに「行政評価」に取り組むことになったわけ。

え、「行政評価」？はじめて聞く言葉だけど。

「地方の時代」といわれて久しいけど、これからは、限られた「お金」と「人」をどのように活用して市民サービスの向上につなげるか、市役所の経営手腕が問われる時代。そこで、市の仕事を評価して、その成果をそ



## マネジメント・サイクル



わたしの会社でも、日ごろから「計画→実施→検証

それぞれの仕事に生かしていく仕組みをつくったんだ。

大輝

以前から、仕事の前後のチェックは担当ごとに行っていたんだけど、今は、それぞれ仕事を計画する段階で、目的の達成度を測る指標とその目標値を設定し、実施後、その数値の推移を毎年把握するとともに、さまざまな角度から検証して、廃止や統合、改善などの結論を出し、その結果を翌年の予算や日々の仕事に反映させるという仕組みが定着しているよ。

明日香

→改革・改善の流れで仕事をしているのよ。市役所も同じね。



## 壮大な政策体系

市役所の仕事って、幅広いでしょ。評価も大変ね。

確かに評価する範囲は広く、市では、「政策体系」に基づいて評価を行っているんだ。

明日香

政策体系？

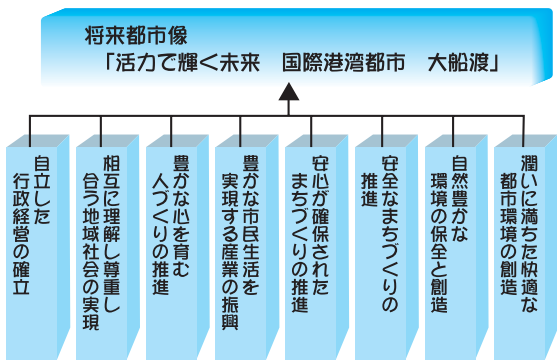
「政策体系」は、いわば市の仕事を戦略的に体系化したもの。市では、10年後を展望した総合発展計画の中で、「安全なまちづくりの推進」をはじめ8つの「政策」

を掲げ、それを実現するための課題を「施策」、その施策の実現に向けた取り組み方針を「基本事業」として体系化している。これが「政策体系」。さらに、それぞれの「基本事業」のもとに、関連する「事務事業」が位置づけられているんだ。このように、政策と施策、施策と基本事業、基本事業と事務事業は、それぞれ目的と手段の関係にあるのさ。

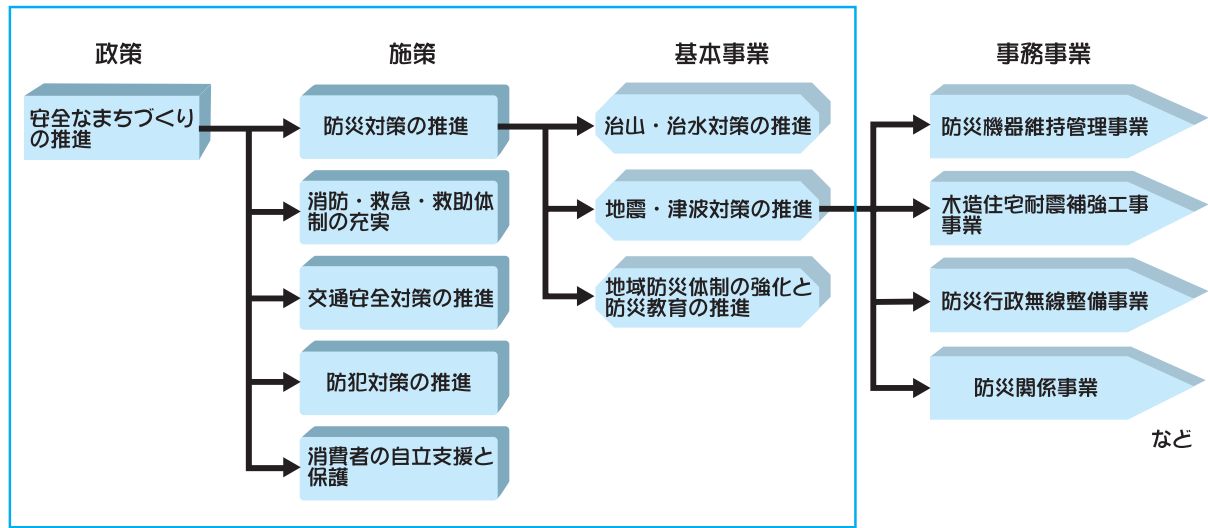
明日香

ふーん。政策体系って、壮大なスケールなのね。

【次号に続く】



## 【政策体系の一例】



政策の一つ「安全なまちづくりの推進」を例にとると、それを実現する上での課題として、「防災対策の推進」をはじめ5つの施策が、また、その「防災対策の推進」の実現に向けて「治山・治水対策の推進」をはじめ3つの基本事業があり、その下には関連する事務事業がそれぞれ位置づけられています。

▽問い合わせ先  
企画調整課企画係 ☎内線2229